

水害

ボランティア

作業

マニュアル

これで完ペキ

防塵マスク
立体型がおススメ

長袖
あつても

泥だらけでも置は馬印
がはりにしても
ベストポータ
ディパックで
荷物をひとまとめ

雨具(上下別で)
梅干(熱中症注意)
ミニ応急セット
貴重品

※床下の泥出し
作業に
ヘッドライト
が大活躍



帽子 or
ヘルメット

ゴーグル
(コンタクト使用者)
は必須

タオルやてぬぐい

名札

厚手で長めの
ゴム手袋

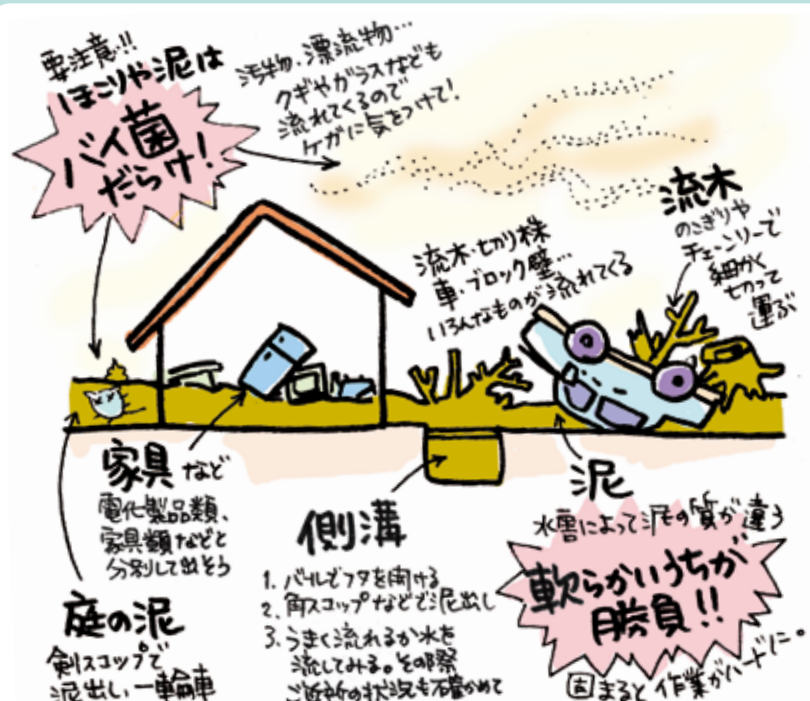
軍手はNG
(中にはめるなら
汗を吸うのがGood)

水筒

目や手の洗える
水がベスト

長ズボン
長ぐつ

長いタイツで踏み抜き
防止鉄板入りがベスト
(踏み抜き防止の中敷
もある)

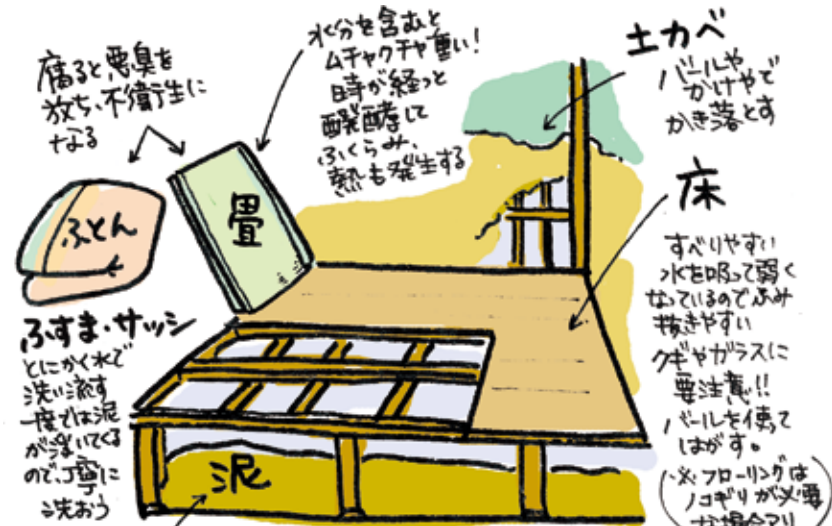


家具など
電化製品類、
家具類などを
分別して出す

側溝

1. バルコニーを閉める
2. 角スコップなどで泥出し
3. うまく流れる水を流しみる。その際、土砂の状況も把握のため

泥
水層によって泥の質が違う
軟らかい泥が
勝負!!
(固まると作業が大変)



1. 泥出し
道具に水をかけながら
たらしると泥が滑りにくい
2. 洗浄
デッキブラシ、
水切りなど
3. 消毒・乾燥
窓をあけて扇風機で乾燥。
床下などは石灰散布が効果的。

◆片付けの前に保険や補償(り災証明など)のために、被災の現状を写真で撮るなどして記録しましょう。
◆水に浸かった車はエンジンをかけない(発火やエンジンが全壊する恐れあり) ◆冷蔵庫やエアコンのフロンガス回収を忘れず。
◆水に浸かった車はエンジン

廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちやペースにあわせよう／お話をたっぷり聞こう／真剣さと笑顔を織り交せて／塩分と休憩はしっかりとろう

道具用途一覧

剣スコップ

固い土・堆積した泥

角スコップ

床下の泥出し
道路や側溝などの平たい所

じゅうのう

十能

縁の下・側溝

ミニスコップ(コテ)

家の中の細かい泥

じょれん・どうぐわ

側溝

腰を痛めない方法



バール(大・小)

土壁落とし・家具の解体
床板はがし・側溝の蓋開け
テコがわり

かけや

土壁落とし

のこぎり

流木などの裁断
フローリングの床板はがし
※型枠用か植木用が便利

デッキブラシ・たわし

床板・道路・壁掃除

水切り

※雑巾より便利

モップ

水切り・拭き掃除



ほうき

掃き掃除
※室内用と屋外用と分けて使う

雑巾・タオル

拭き掃除
※普通タイプがなにかと便利。
大きいとかえて不便



スポンジ・歯ブラシ

細かいところの掃除



ちりとり

水切りがわり
狭いところの泥だし
※割れにくい金属製がオススメ

あると便利な道具たち

左官用フネ

機材・長靴の洗浄
※資材担当で活躍

高圧洗浄機

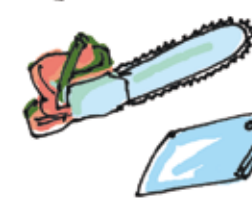
高いところの洗浄
道具の掃除
※レンタルあり

チェーンソー

流木・倒壊家屋の処理
※使い慣れている人のみ

ブルーシート

家財などの下に敷く
資材の保管・屋根補修



パワーショベル

荷物運搬・がれき撤去
泥だしなど
※レンタルあり・免許必須。バケットサイズ0.1立米が手ごろ



フレコン(トン袋)

大量の泥
※重機での回収が必要



軽トラック

人・物の運搬
※小回りが利いて狭い道でもOK。
レンタルあり



バケツ

ぞうきん・タオル洗い
※取っ手が壊れるので入れすぎ注意
壊れにくい丈夫なものが多い

一輪車

荷物・泥の運搬、水を入れるなど
※深いタイプがオススメ

土のう袋

泥・細かいがれき・廃棄物を入れる
※腰を痛めるので6~7割以上は入れない
・水は時間がたてば抜けるので気にしない
・平に積み重ねると崩れにくく、キレイ
・泥が流れ出さないようしっかり口を結ぶ



★土のう袋をしばるコツ



※液体状の泥などはほどけると出てきてしまうため、しっかりと結ぶ。

■安全と衛生 無理せず、ケガなく

粉塵

まれに短期間で病気を起こす恐れあり。
→粉塵用のマスクやタオルでカバー

熱中症

大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お酒の飲み過ぎに注意!
→水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩

破傷風

深い刺し傷に注意!
→ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する

活動後はうがい・手あらい!

目に泥がよく入るので真水があると便利。

